

民主
PRESS MINSHU

号外 静岡3区版

平成26年1月1日

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

～ 協同・連帯 共生・安心 ～

前衆議院議員 民主党静岡県第3区総支部



小山のぶひろ 氏に訊く

謹んで新年のご挨拶を申し上げます

○民主党静岡県第三区総支部長に就任

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は、中東遠エリアにおいては、市議会・町議会議員選挙、市長選挙、県知事選挙、参議院選挙と、選挙続きの年でした。残念な例もありましたが、概ね、自分たちの推薦・応援の候補が当選を果たすことが出来、大変良い結果だったと思います。十二月十七日には、民主党常任幹事会において、再び、民主党静岡県第三区総支部長に就任する(時期衆議院選挙公認内定)こととなりました。今回、党本部が私に公認内定を出したと言うことは、世論調査等の各種調査を行ったのかもしれないと思いますが、静岡三区は、自民、維新の候補がいて三つ巴となっても、必ずとはいわないまでも、私ならば勝てる可能性があるかと判断したことだと思います。公認の内定になっても、選挙で勝利しなければ意味がありません。次回総選挙で当選し、ご期待に応えるべく、さらに活発に活動を展開して行きたいと思えます。

○どのような社会を目指すのか

前回の総選挙では、民主党をいかに信任しないかという選挙だったと思います。だから、どのような社会を目指すのか、ということが、あまり問われませんでした。しかし、特定機密保護法案ならびにその決定過程や、大企業減税する一方で、家計には軽自動車税や消費税などの重税を課す姿勢(加えて円安のデメリットもほとんど家計にしわ寄せがきている)など、少なくとも自民党の政策に対して、違和感を覚える人が増えて来ており、ようやく

政権運営の巧拙に加えて、どのような社会を目指すかが、少し問われるようになってきたと思います。アベノミクスは現在までは、調子よくなりましたが、日銀短観などでも、景況感はプラスでも先行感は決してよくないです。中小企業は苦しい状況が続いています。特に静岡県は景況感が悪い数字が出ています。今後の景気動向については注意が必要だと思います。国民所得が増え、出来る限り富が平準化されてこそ、個人消費が伸びて、デフレを脱却できます。時代遅れの新自由主義的な政策では、小泉政権の経済の二の舞であり、最悪の場合、安倍バブルの崩壊というシナリオも考えられると思います。

○誰かのせいにするのはやめよう

先日、大島章宏幹事長が「党勢が拡大しないことについて、過去の代表から現在の代表まで含めて、もう誰かのせいにするのはやめよう。政党はきゆうきよくてきには個人の集まり。それぞれの持ち場で頑張っていくしかないんだ」とおっしゃいましたが、私もその通りだと思います。確かに過去の判断の妥当性についての検証は必要です。しかし、誰かのせいにしては、発展はありません。「一人一人の民主党員・民主党候補者が、民主党を背負い、創っているのだ」という気概を、私個人も持って、私の持ち場で頑張っていきたいと思えます。今年もよろしくお願いたします。

前衆議院議員 小山 展弘